



横浜訓盲学院 だより

第18号 (2010年3月号)

2010年2月26日発行

トピックス

視覚障がいと音楽／3月の聖句1P
クリスマス祝会／スケート教室／修学旅行	他2P
学校開放「お餅つき」／福祉車輛贈呈	他3P
臨床実習のご案内／PTAバザーのお礼	他4P

〒231-0847 横浜市中区竹之丸181番地
URL:<http://kunmou.jp/>

事務部

TEL045-641-2626 FAX045-641-2627

E-mail : jimu@kunmou.jp

普通部

TEL.FAX045-662-1710

E-mail : futsuu@kunmou.jp

理療科

TEL.FAX045-662-1833

E-mail : riryuu@kunmou.jp

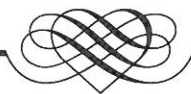
視覚障がいと音楽

学院長 北村光之

視覚障がいの原因は時代により変化がみられますが、日本の最近の統計では緑内障や糖尿病によるものが首位をしめています。

国による違いもあるようで、発展途上国では白内障が多いということです。日本では、昔から視覚に障がいを持った人たちは、視覚以外の感覚を活用した仕事にたずさわってきました。触覚を活用したあん摩や鍼はよく知られるところですが、聴覚を活用した音楽の分野もあります。例えば、古くは平安時代の琵琶法師です。江戸時代になりますと、琴や三味線、琵琶などを生業とする人もいました。現在では、ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールで優勝した辻井伸行さんを始め、バイオリンや声楽などの分野で活躍している人もいます。本校の歴史を見てみますと、昭和10年頃から約30年間、当時ハーモニカ音楽界の第一人者だった川口省吾さんの指導のもと、盲児達によるハーモニカバンドが結成されたということです。各地で演奏会を行ったり、ラジオ放送に出演したり、ウイーン少年合唱団が訪日した時は共演をしたということです。現在の本校の児童・生徒は、障がいの重複化で当時とは大きく様変わりしていますが、音楽は重複障がいの教育の中で大変活用されています。讃美歌を歌ったり、楽器を活用した授業などを通して、子ども達の心の安定を育みながら、隠れた才能を開花させています。

今後とも本校の教育にご理解とご支援をお願いします。



「イエス・キリストは、昨日も今日も、また永遠に変わることのない方です。」

ヘブライ人への手紙13章8節

《3月の聖句》

世が変わり、人が移ろえども、イエス・キリストの愛は永遠に変わりません。

私たちを愛し、神にとりなしてくださる方です。



クリスマス祝会

12月23日(水)にクリスマス礼拝・祝会が行われました。高等部グループによる、イエス・キリストの生



誕劇『ページェント』から始まり、理療科のハンドベル演奏、幼小グループによる『狼と3匹の子豚』、小中グループは、映画『パコと魔法の絵本』をモチーフにしたオリジナルの劇『パコと不思議な絵本』が発表されました。どの舞台も、台詞、動き、歌など児童生徒それぞれの見せ場が



満載で見逃せない場面ばかりでした。また、手のこんだ衣装や装飾も毎年評判で、今年も各グループの職員の意気込みが感じられました。会場に足を運んで頂いた保護者の方々、地域の皆様、どうもありがとうございました。

スケート教室に行ってきました

昨年度に続いて第2回目となる「スケート教室」が1月7日(木)に行われました。今年も体育の授業でローラーブレードの学習を行い、それをふまえていざ氷の上へ。



参加した児童生徒それぞれが昨年の経験を活かしてさらに滑りが上達し、楽しんでスケートに取り組むことが出来ました。手引きでバランスを取りながら進んだり、手引きなしでも一人で進んだり、先生や友だちの肩や腰につかまりながら進んだり・・・滑り方はさまざまですが、子ども



達の表情から、一生懸命に取り組む様子が伝わってきました。各方面のご協力により、おかげさまで充実した冬季特別教室が出来ました。

「イルカに触ったよ！」

—高等部普通科沖縄修学旅行—

横浜が一年でもっとも寒い時期を迎える1月、高等部普通科の生徒3名が沖縄に2泊3日の修学旅行に行きました。先生方の見送りの中、公用車で学院を出発したときは全員冬の装いだったのに、旅行中一番暑い日は何と気温23℃。生徒たちも沖縄と横浜の違いをまさに肌で感じてきました。現地ではイルカのトレーナー体験をしたり、ミカン(たんかん)狩りを楽しんだり、日本で一番早い



桜の花見をしたりと、本当に盛りだくさんの内容で十分に沖縄を満喫してきました。



思うツボ

『五禽戯(ごきんぎ)』

五禽戯とは中国の後漢末、「神医」とよばれた華佗(かた)によって、五種類の禽獣・動物からヒントを得て、鹿、猿、熊、鳥、虎のそれぞれの動物の動作を真似て身体の「肝・心・脾・肺・腎」が健やかになるように創られた健康体操法です。

これらは中医学の哲理、陰陽五行思想(木・火・土・金・水)を含み、技ごとに弱りやすい肉体的な部分を健やかにする作用を備えています。つまり、中国では古くから、現代でいうセルフケアが行われてきたのです。

- ①鹿戯…木、筋、春、肝臓に関係。敏捷性。
- ②猿戯…火、脈、夏、心臓に関係。機智的な反応力。
- ③熊戯…土、筋肉、土用、脾臓に関係。気力の増大。
- ④鳥戯…金、皮毛、秋、肺臓に関係。呼吸の調整。
- ⑤虎戯…水、骨、冬、腎臓に関係。排泄器官や生殖器官などの活性化。

華佗は「三国志」で有名な曹操孟徳と歴史的に深い関わりを持つ人物で、医薬や鍼灸に非常に精通していたといわれています。興味のある方は「後漢書」「方術伝」の中の「華佗伝」をご参照あれ。

学校開放「お餅つき」



学校開放の一環として行っている「お餅つき」が1月23日(土)に行われました。当日は170名を超える大勢の方にお越しいただき、大変賑やかな雰囲気の中で、小さいお子さんからご年配の方まで楽しそうにお餅つきを体験し、つくたてのお餅の味を堪能されていました。大福作りのコーナーでは、家族連れで一緒に参加されている姿もみられ、団らんのひとときを提供できたのではと思います。また関係各所より甘酒と豚汁をご提供いただきました。ありがとうございました。

今年度の学校開放は、和太鼓・移動動物園・お餅つきと行いましたが、毎回大勢の方にお越しいただき、地域の皆様楽しんでいただける場となり、また本学院の活動や視覚障害について知っていただけるよい機会になれば幸いです。

季節行事「まめまき」

2月の行事といえば節分です。学院では、2月2日(火)に普通部全員が集まり「まめまき」を行いました。

2チームに分かれた鬼倒しゲームでは、子どもたちが作った赤鬼と青鬼に向かって、皆でボールを投げ、どちらが早く鬼を倒せるかを競いました。ボールがぶつかり鬼が倒れると、教室中に歓声が沸き上がっていました。司会の先生と子どもが勝敗を告げたその時、廊下から太鼓の音が鳴り響きました。教頭扮する鬼が登場です。鬼を退治しようと子どもたち全員は豆をカ一杯投げ、追い出すことができました。鬼を退治した後は、学院長扮する福の神、またの名を「また帰ってきたハッピーマン」が現れ、一人ひとりに福を分けてくれました。子どもたちは皆よい表情を浮かべていました。

皆様は今年いくつ豆を食べたのでしょうか?
皆様の今年一年のご健康をお祈りいたします。



視覚障害

ミニ知識



視覚障害者の パソコン利用

昨年発売されたウインドウズ7は、ビスタよりも処理スピードが上がったとか。今やパソコンも一家に一台の時代。視覚障害者のパソコン利用も年々進んでいます。画面や文章を読んでもくれるソフトが充実し、点字使用者でも「漢字仮名まじり文」を書くことができるので、健常者と同じ土俵で情報交換できるようになりました。昨今はメールやインターネットを活用し、積極的に情報収集する人も多くなってきました。ところで、晴眼者のほとんどの方はマウスでパソコンを操作していると思います。しかし画面を目で把握できない視覚障害者にはとても困難なこと。実はウインドウズの操作のほとんどがキーボードからできるって知っていましたか? 試しにマウスを使わず「スタートメニュー」を開いてみてください。わかりますか? 覚えると案外便利です。

福祉車輻の贈呈を受けました

第32回「24時間テレビ」様より、福祉車輻(リフト付き10人乗り)の贈呈を受けました。12月4日、日本テレビ放送網(株)「日テレホール」(港区東新橋)での贈呈式を経て、12月18日に学院へ納車されました。

初の学院所有車輻ですので、今後有効に活用していきます。本当にありがとうございました。



臨床実習のご案内

※詳しくは各会館へお問い合わせ下さい。

院外臨床実習とは、学校臨床室以外の
場所で生徒たちがおこなう実習です。
日頃の感謝の気持ちを込めて、毎年、
学院周辺の町内会館にてマッサージを
行なっています。



是非ご利用下さい!

平成22年

3月 8日(月) 鷺山竹之丸会館
9日(火) 柏葉町内会館
10日(水) 大和町町内会館
11日(木) 麦田地域ケアプラザ
12日(金) 豆口台上町内会館

時間：9時～12時

料金：無料

今年も

バザーへのご協力

ありがとうございました

11月21日(土)恒例のPTAバザーが行われました。毎年人気の雑貨コーナー、生花コーナーなどとともに、今年も、陶芸、木工などの児童生徒の手作り作品や、手作りのお菓子などが販売されました。当日の子どもたちは、搬入、店作り、店番、お客さんの呼び込みに大忙し。それぞれが協力し合って仕事を行いました。理療科生徒によるコンサートもバザーに憩いの場を提供し、今年も大盛況でバザーを終えることができました。

ご協力頂きましたボランティアの皆様、献品をして下さいました皆様、ご来場下さいました地域の皆様、本当にありがとうございました。



今後の行事予定

- 3月10日(水) 普通部マラソン大会
- 3月16日(火) 普通部卒業おめでとう会
- 3月19日(金) 平成21年度卒業式・修了式
- 3月23日(火)～ 春休み
- 4月 8日(木) 平成22年度入学式・始業式

平成22年度生徒募集

- 募集定員 (各部若干名)
 - 【普通部】 幼稚部・小学部・中学部
高等部普通科・専攻科生活科
 - 【理療科】 高等部保健理療科・専攻科理療科
- 募集期間《二次募集》
普通部、理療科ともに3月12日(金)まで随時
- お問い合わせ
 - ・普通部 電話 045-662-1710
 - ・理療科 電話 045-662-1833

ご協力をお願い—賛助会員—

私どもの視覚障害教育にご理解いただき、ご支援下さる団体・個人の方々の賛助会員を募らせていただいております。よろしく願い申し上げます。

- 【年会費】 個人会員(1口) 1,000円
団体会員(1口) 10,000円
(口数は問いません)
- 【お支払い方法】 郵便振替
[加入者名] 学校法人横浜訓盲学院
(口座番号 00200-5-40861)
・現金
- 【その他】 会費以外に寄附金も有難くお受けいたします。
- 【お問合せ先】 横浜訓盲学院 事務部 TEL.045-641-2626